

福島県水道ビジョンにおいて現状分析・課題抽出を行う項目について

資料 1 - 2

※黒字部分は『「都道府県水道ビジョン」作成の手引き』の記載項目、朱書き項目は福島県独自の項目

分類	現状分析の視点	分析項目（案）
安全	水源汚染等（クリプトスポリジウム、油流出等、 原水高濁度長期化、カビ臭原因物質等 ）のリスクへの対策がなされているか。	クリプトスポリジウム対策実施状況
		水源汚染等の状況
	水源から給水栓に至る統合的な水質管理がなされているか。	水安全計画策定状況
		水質基準超過状況
	水道未普及地域への水道整備及び水道以外の供給対策が行われているか。	水道未普及地域への水供給方法の検討状況 （水道布設以外の方法を実施している市町村の取組み内容）
	施設・設備の維持管理が適切になされているか。	貯水～配水管までの各施設の点検・清掃頻度
	施設・設備・管路の更新等が計画的になされているか。	水道施設台帳の整備状況
		アセットマネジメントの実施状況
		管路の経年化状況
		管路の更新率
		有効率・有収率
		基幹施設の経年化状況
		今後の年度ごとの更新需用費
		事業体ビジョン（長期計画）策定率
	水質検査実施体制及び水質検査の信頼性の確保は十分なされているか。	自己検査を行っている事業体の精度管理状況等
簡易専用水道、小規模貯水槽水道等の貯水槽水道や飲用井戸等の自己水源利用施設の安全確保体制は十分か。	簡易専用水道対策実施状況（法定検査受検・不適合状況）	
	小規模貯水槽水道の条例策定状況	
	小規模貯水槽水道対策実施状況（簡易専用水道に準ずる）	
	飲用井戸の条例等策定状況	
給水装置工事事業者の資質は確保されているか。	講習会の実施状況	

分類	現状分析の視点	分析項目（案）
強靱	水道施設（管路を含む）の耐震化は十分なされているか。	管種別の布設状況（石綿管残存率含む）
		耐震管と非耐震管の布設状況
		施設の耐震対策実施状況
	事故・広域災害等への対策が十分なされているか。	職員の状況（事務・技術・技能職の区分における年代ごとの人数、平均経験年数等、研修の実施状況等）
		危機管理に関する計画・マニュアルの策定状況等
		応援協定締結状況
		給水車・車載タンク・タンク用車両の数等
		配水池貯留能力 （一日平均配水量に対する配水池有効容量の割合）
		最近の大規模災害による水道施設被害状況
	利用者も含めた災害時の訓練がなされているか。	防災訓練の実施状況等
施設・設備の維持管理が適切になされているか。（再掲）		

分類	現状分析の視点	分析項目（案）
持続	水道水は安定的に供給されているか。	断水発生状況
		水源水量（確保している水源水量、水源余裕率）
	資産管理が適切に行われているか。	水道施設台帳の整備状況
		アセットマネジメントの実施状況
		有効率・有収率
	他水道（用水供給）事業者との連携がなされているか。	広域連携の状況
	施設の運転・維持管理や今後の施設整備のための財源が十分に確保されているか。	アセットマネジメントの実施状況
		経営指標について（料金回収率等）
		家庭用20㎡当たり料金
		水道料金設定の考え方
	水道の技術力や経営管理、長期計画の策定等に関し、長期的視点に立った人材確保・育成がなされているか。	職員の状況
		委託の状況
	施設・設備・管路の更新等が計画的になされているか。（再掲）	
	利用者への情報提供（公開）が行われているか。	情報の公表状況（施設見学実施状況含む）
給水人口の減少等の状況の変化に応じて効率的な施設の再構築等の検討がなされているか。	各事業者における検討状況	
	事業者ビジョン（長期計画）策定率	
水源の保全は十分になされているか。	水源保全の状況（水源保護条例の制定状況、水源林整備状況等）	